

深澤孝良さん(小須戸)が東京2020五輪聖火リレーランナーに選ばれました。



「町屋ギャラリー薩摩屋」の企画委員をつとめている深澤孝良さん(写真左)が、47都道府県を走る栄えあるオリンピック聖火リレーランナーとして選ばれました。深澤さんよりコメントを戴きましたので、以下に掲載いたします。

このたび、東京2020オリンピックのスポンサーである、トヨタ自動車の聖火リレーランナー募集に、薩摩屋企画委員の活動と小須戸地域の活性化に対する思いを文章にして応募したところ、なんと聖火リレーランナーに選ばれました。まだ、走る場所は詳しく決まっていますが、6月6日(土)に新潟県の中越か下越の聖火リレーコースを走る予定です。

これをきっかけに、さらに地域活性化の力になることが出来ればと考えています。

聖火を繋ぐという大役に、今からわくわくドキドキしていますが、走る時は、小須戸地域の代表という思いで、恥ずかしくない走りをしたいと思っています。

皆様のご声援よろしくお祈りいたします。

小須戸地区での五輪聖火ランナーは、平成10年(1998年)長野オリンピックの際に中野大輔さんが選出されて以来の快挙となります。

とても名誉なことですので、皆さんも深澤さんの雄姿を沿道で応援してみませんか？

小須戸まちづくりセンター休館日のお知らせ

- 令和2年度の臨時休館日は以下のとおりです。
- ◆5月3日(日)～6日(水)の祝日
- ◆お盆期間の8月13日(木)～16日(日)
- ◆祝日で、1日貸館利用のない日(一日休館)および日曜・祝日で、夜間帯の貸館利用のない日(18時閉館) ※1か月前までに利用予約がない場合に実施します。
- ※通常の休館日は第2・4木曜日と12月29日～1月3日です。

課題解決きらめきサポートプロジェクト

「地域の宝探し 秋葉ひなめぐり」

小須戸・新津の地域の垣根を越え、初めて取り組みました



県内各地より寄付された「町屋ギャラリー薩摩屋」で飾られた雛飾り



小須戸コミ協会長佐藤喜代一さんより(今後の展開など)

2月9・22・23・24日と4日間にわたって開かれた「着物を着てまち歩き」町屋づくりの伝統的な街並みの中を着物を着てひな飾りの会場を巡る様子が、信濃川の舟運で栄えた在郷町の模様を再現しているようで、多くの写真愛好家が、その様子を撮影していました。

小須戸コミ協会長佐藤喜代一さんより(今後の展開など)

今年は、秋葉区自治協のお力添えで小須戸地区32カ所新津地区28カ所での開催となりました。中には区内の幼保小中、福祉施設によるつるし飾り(新津地域交流センター)もあり、参加者の広がりを感じました。優雅、繊細、豪華、華やか、驚き、発見と訪れる人々を魅了する事業に育っていくことを願うとともに、区全体への広まりを期待しています。

小須戸コミ協と秋葉区自治協議会が主催し、地域おこしを目的としたまちづくりイベント「地域の宝探し 秋葉ひなめぐり」が2月1日～3月8日までの間、小須戸地区と新津地区が連携する形で開催されました。期間中は、ひな飾りをめぐらただけではなく、趣向を凝らしたまち歩きやワークショップが行われ、多数の観光客で賑わっていました。

こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp



「歴史を刻む石」
神田 一弘さん
(小須戸中学校長)

中学校の正門を入ってすぐの場所に円筒石が設置されています。三年前まで旧小須戸地区公民館の敷地内にあったものです。建物解体工事に伴って今後を心配された同窓生の方々が、中学校創立八十周年記念の年に、関係機関に働きかけて移設を果たされました。解体工事さなかの移設だったため、いつの間にか石が無くなり、いぶかしく思った方もいたでしょう。また、中学校でも説明板を立てていますが、読んでなければ石を見ても気に留めることもないと思います。

百年以上も昔から町民による土木作業などで使われて町の弥栄に深く関わっただけでなく、戦後しばらく小・中学校のグラウンドの整地で活躍したローラー石です。節目の年に中学校に帰ってきたことを運命的と受け止めるのは、感傷的すぎるでしょうか。



小須戸中学校に移設された「円筒石」(石のローラー)



はじめに、講師より門松の飾りに使われる材料に込められた意味や、竹の切り方などの説明を受けた後に、竹を使って「男結び」の実習を行いました。



日本の伝統文化であり、お正月を彩る「門松」のいわれを学び、祖父母と孫・または親子で一緒に門松の制作をすることで、普段なかなかできない交流をし、新しい年を希望を持って迎えるという気持ちを共有する目的で実施しました。平成27年度から毎年開催し、今回で5回目の開催となりました。

12月～2月の公民館事業を終えて

ミニ門松づくり&高齢者健康塾&体験！ニユースポーツ入門

◆ミニ門松づくり



その後、親子で協力して竹を切り、切った竹を「男結び」で結束して松梅、樺豆木、南天・稲穂を挿して門松を完成させました。



◆高齢者健康塾

健康に関する講話を聞きながら、社会と関わりを持つように促すとともに、生きがいを持つようになることを目的として、地域の茶の間「いこば」・こいてば」と秋葉区健康福祉課と共催して実施しました。



参加者は44名もあり、「コフレイル」への関心の高さが出がえしました。

はじめに、区健康福祉課小須戸中学校区担当保健師の坂本保健師より「コフレイルチェック」ということで5つの質問が出されました。内容は次のとおりです。

- ① 1年で2.3kg体重減少
- ② 少し疲れやすくなった
- ③ 重いものを持つのが億劫
- ④ 歩きがゆっくりになった
- ⑤ 外に出る機会が減っている

うち3つ以上あてはまると「フレイル」1～2つあてはまると「フレイル予備軍」とのことです。「早めに気づくことで、食生活や運動で生活習慣を改めることで健康な状態へ戻ることができるとの話がありました。続いて、管理栄養士の伊藤先生より「食生活改善」で低栄養予防に関する講話をいただき、1日3食、3～4



時間空けて、均等な割合で主食・主菜・副菜がきちんと入った食事をしているかの自己診断を行いました。



「初めてスリッパ卓球をするので練習に来た。」という小中学生は、「こすどスリッパ卓球倶楽部」の皆さんから、指導を受けていました。



世代を越えてニユースポーツ(スリッパ卓球)を体験し、大人のリフレッシュと子どもたちが心身ともに健やかに創造する力を育むことを目的に、1月・2月の第2・第4火曜日の夜間に全4回実施しました。

◆体験！ニユースポーツ入門

新津税務署「令和元年度納税表彰式」 小須戸中学生が栄えある受賞

「税に関すること」をテーマに中学生から募った作文・標語の中から、優秀な入選作品に対して表彰する「令和元年度納税表彰式」が11月20日(水)、秋葉区文化会館において新津税務署及び新津税務署管内税務協力団体協議会の主催により開催され、入賞者に賞状と記念品が贈られました。

これは毎年、11月11日から17日を「税を考える週間」とし、次代を担う中学生に税についての関心を深めてもらうために実施しているものです。

新津税務署管内(新潟市秋葉区・五泉市・阿賀町)の中学校(13校)から、作文は12校・525編、標語は10校・2081点の応募があり、その中より小須戸中学校からは、次の3名の生徒さんが各賞を受賞されました。

◎中学生の《税についての作文》

新潟市長賞

「税の裏側」

小須戸中学校 1年 阿達 あたち 巧笑 ことえ

小須戸商工会長賞

「税金があることによって」

小須戸中学校 1年 橋本 はしもと 航希 こうき

◎中学生の《税の標語》

小須戸商工会長賞

「税のこと学んで気付く 未来の日本」

小須戸中学校 1年 島田 しまた 妃菜 ひな



表彰式の集合写真 3列目右から2番目より順に島田さん・橋本さん・阿達さん



冬場の運動不足の解消に「カーリンコン 無料体験教室」が実施されました

1月から2月にかけての毎週水曜日に、小須戸体育館の利用促進及び冬場の運動不足解消を図る目的で、小須戸地区スポーツ振興会及び小須戸体育館の指定管理者の秋葉区スポーツフィールド運営グループの共催で、「カーリンコン無料体験教室」が行われました。

ルールは1チーム3人制の団体戦で、黄色のポイント(的)に自分のチームの色のディスクを何枚近づけられるかで、先に7点に達したチームが勝ちという至ってシンプルな競技です。

単純なルールながらも、ディスクの色が裏返って相手チームのディスクになったり、相手のディスクをはじき飛ばすつもりが、味方のディスクを間違っ飛ばしてしまうなど、予想外の展開に大変盛り上がるおもしろいニュースポーツです。また、カーリンコンには「介護予防」や「健康寿命の延伸」、「自らの健康度を高める」など様々な効果があり、老若男女、障がいのある人もない人も、ともに楽しむことができます。今後の「無料体験教室」の予定については、小須戸武道館 TEL 0250-38-2121 までお問い合わせください。

ラジオ体操健和クラブ 会員募集

4月より毎週日曜日 朝6時30分～小須戸まちづくりセンター入口前でラジオ体操を行います。健康に関心のある方集まってください。11月頃まで行います。
◆問合せ・申込 高山泰栄さん
電話：38-4681 (夕方5時以降連絡可)

文芸欄

全身にどんどの臭ひ纏ひ来る
初売りの幟はためく町屋かな
振り袖の袂ゆらして大人の日
マスクして待合室は皆無口
マスクして目と目がうるむ無菌室
待合室マスクの母の慈愛の眼
実南天侘しき庭の紅一点
寒晴れやあはれ遺影の美しき
春立つや参道よぎる親子猫
水温む今日も二人の米を研ぐ

朝市に笑顔のパワーの繁盛記
美人ではないが笑顔は超ステキ
母さんの笑顔家なごやかに
いつの日か頑張ったネと笑顔ある
裏方で生きた笑顔に人が寄る
手を振って笑顔の似合う友が来た

自由吟
カリリーゼロ煮もの酔のもの安心だ
日向ぼこ硝子戸越しに本を読む
今日もあたたか日々儲けもの
時雨るる日訪れる人無き予感
素顔のままに槌に豆打つ
大黒寿司去りて二年余置きゆきし
瀬戸物なでつ思い出しおり
義母好きな房咲き水仙庭に咲き
香り豊かに仏壇に供え

吉澤文子
熊倉ひろむ
吉田松子
本多玲子
馬場綾子
間野えり
風間幸子
中野太浪
佐久間久子
丸山紀子
能登としお
浄井都留
増井都留
保科崇二郎
保科崇枝
会田修
保科志枝
奉和崇

川柳 (笑顔)
母さんの笑顔家なごやかに
いつの日か頑張ったネと笑顔ある
裏方で生きた笑顔に人が寄る
手を振って笑顔の似合う友が来た

短歌
日向ぼこ硝子戸越しに本を読む
今日もあたたか日々儲けもの
時雨るる日訪れる人無き予感
素顔のままに槌に豆打つ
大黒寿司去りて二年余置きゆきし
瀬戸物なでつ思い出しおり
義母好きな房咲き水仙庭に咲き
香り豊かに仏壇に供え

久保みね子
玲泉
高橋キヨ
こみけ

俳句・川柳・短歌募集
題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、3月19日(木)までに小須戸地区公民館へ。(締切厳守)

「4月号より文芸欄が変わります」
4月15日発行の「こすど地区公民館報4月号」より、区健康福祉課提供「健康ひとロメモ」の連載を開始します。そのため、誌面スペースの関係上、文芸欄の枠サイズが変更となります。ついでには掲載ルールも変更となります。詳細は1月15日発行の公民館報第781号をご覧ください。

小須戸地区図書室新刊案内

【一般書】
・夫のトリセツ (黒川伊保子)
・心。(稲盛和夫)
・定年後も働きたい。(松本すみ子)
・老〜い、どん! (樋口恵子)
・ケーキの切れない非行少年たち (宮口幸治)
・ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー (レイディみかこ)
・28文字の片づけ (yur.3)
・遅く帰った日の晩ごはん (ぐっち夫婦)
・居酒屋ぼったくり おかわり! (秋川滝美)
・大名倒産 上 (浅田次郎)
・大名倒産 下 (浅田次郎)
・ツナグ想い人の心得 (辻村深月)
・わが殿 上 (畠中恵)
・わが殿 下 (畠中恵)
・黒武御神火御殿 (宮部みゆき)
・できない相談 (森絵都)
・大人のカタチを語ろう。(伊集院静)

【児童書】
・おばけのばあ (せなけいこ)
・10にんのせんになん (佐々木まき)
・そんなにみないでくださいな (accototo)
・ノラネコぐんだんカレーライス (工藤ノリコ)

《山遊さん》～山に遊びに行きませんか～ 参加者募集!

矢代田の子どもたちは旧暦の桃の節句(4月3日)に、ひな祭りのひし餅にならない『ひし形餅』をもって山へ遊びに行き、一日中楽しんでさうです。このならわしを復活させ、みんなで山へ遊びに行きませんか!

- ◆日時 令和2年4月3日(金)
8時45分大沢森林公園集合
9時出発 12時解散(予定)
- ◆参加費 300円(餅代・保険料)当日受付でお支払ください。
- ◆持ち物 タオル、飲み物、雨具
- ※注意事項 山に登りますので動きやすい服装と靴でお越しく下さい。小学生以下の方は保護者同伴をお願いします。トイレは大沢公園にしかありません。ご注意ください。
- ◆行程 9時 大沢公園⇒11時 高立山(休憩)⇒12時 大沢公園
- ※雨天の場合は、ふれあい会館にてレクリエーション等を行う予定です。
- ◆定員 30名(先着順)

◆問合せ・申込 小須戸地区ふれあい会館へ電話でお申し込みください。
(電話:0250-38-3151)
※休館日:月曜・祝日 開館時間:9時~21時30分
※申込締切:3月28日(土)
※新型コロナウイルスの影響により中止となる場合があります。

共催 小須戸地区スポーツ振興会
山の手コミュニティ協議会・小須戸コミュニティ協議会

小須戸地区ふれあい会館 令和2年度休館日のお知らせ

- ◆月曜日・祝日・8月13日(木)~15日(土)
12月29日(火)~1月3日(日)
- ◆日曜日夜間帯の貸館利用のない日(17時閉館)
※1か月前までに利用予約がない場合に実施します。

編集委員のつぶやき 世界的問題になっている新型コロナウイルス。わたし達の地域にも心配は尽きません。少しでも感染を防げるように、しっかり食べて! しっかり寝て! 免疫力アップ! みなさんとウイルスに負けない体づくりを目指しましょう。(1)